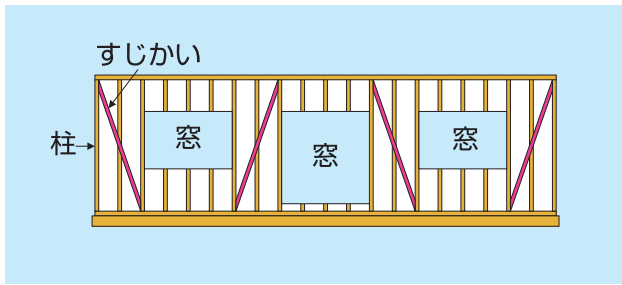


D 壁の筋かい



筋かいあり **1.5**

筋かいなし・わからない **1.0**

診断項目	評点(いずれか1つに○をつけてください。)
筋かいあり	1.5
筋かいなし・わからない	1.0

E 壁の割合

- 1階部分について、下の図を参考に壁の量をだまかに判断し、評点を決めてください。
- 2階建ての場合は、「2階建」の数値を使ってください。

平屋 2階建	平屋 2階建	平屋 2階建	平屋 2階建	平屋 2階建
1.5 1.2	1.5 1.0	1.2 0.7	1.0 0.5	0.7 0.3

F 建物の傷み具合(老朽度)

健全

1.0

- 新築時の良い状態が続いているもの

老朽化している

0.9

- 屋根の棟の線や軒先の線が波打っているもの
- 柱に傾きがあり、建具のたてつけが悪くなっているもの

腐ったり、シロアリに喰われている

0.8

- 腐ったり、シロアリに喰われている
- 土台をドライバーで突いてみて、ガサガサになっている。(特に建物の北側と風呂場周り)

診断項目	評点 (いずれか1つに○をつけてください。)
健全	1.0
老朽化している	0.9
腐ったり、シロアリに喰われている	0.8

総合判定

A ~ **F** の各評点をかけ算して総合評点を求めましょう。

A × B × C × D × E × F = 総合評点

0.01 < 総合評点 ≤ 2.25 とならない場合はかけ算が誤っています。もう一度計算してください。

総合評点	判定	今後の対応
1.5 以上	安全です。	安全と思われませんが、今後とも維持管理を十分に行ってください。
1.0 以上 1.5 未満	一応安全です。	専門家による診断を受け、耐震性を確認してください。
0.7 以上 1.0 未満	やや危険です。	
0.7 未満	倒壊の危険があります。	専門家による診断を受け、補強方法について相談してください。

総合評点1.5未満の場合は、町の無料耐震診断をお勧めします。(ただし、昭和56年5月31日以前に着工した在来木造住宅であることが条件です。)

※「安全」とは、壁のクラック(ひび割れ)などの軽微な被害は出るが、継続して使用が可能であることをいいます。